

# 白岡市議会報告会 実施報告書

## 白岡市議会報告会実行委員会

総括実施日：令和6年2月 8日(木)

報告日：令和6年4月26日(金)

### 1 概要

- (1) 日時 令和6年1月28日(日) 午後2時から4時まで
- (2) 会場 白岡市生涯学習センター〔こもれびの森〕多目的ホール
- (3) 出席者

- ・市民34名（第1部のみの参加者6名を含む。）
- ・手話通訳者2名
- ・市議会議員18名、事務局職員3名

（議員の内訳）

議長、各常任委員会から選出された議員6名、実行委員会委員5名、  
応援議員6名

### (4) 内容

- ア 開会（司会進行：松本議員（実行委員会副委員長）、挨拶：大島議長）
- イ 第1部 議会の報告
- ウ 第2部 市民の皆様と議員との意見交換
- エ 閉会（挨拶：遠藤副議長（実行委員会委員長））

### 2 「第1部 議会の報告」について

総務・文教厚生・産業建設の各委員会から、9月及び12月議会での審査内容等について報告を行った。

- (1) 総務常任委員会 加藤 一生 委員長  
「総務常任委員会の所管事務について」
- (2) 文教厚生常任委員会 中村 匡志 委員長  
「大山小学校に関する議案について」
- (3) 産業建設常任委員会 石渡 征浩 委員長  
「白岡宮代線の整備工事について」

### 3 「第2部 市民の皆様と議員との意見交換」について

市民と議員とがA～Dの4グループに分かれ、意見交換を行った。  
特定のテーマは設けず、市政全般に関するフリートークとした。

#### (1) グループ分け

A：加藤議員、斎藤議員、嶋田議員、浜口議員（記録係）、市民8名

B：中村議員、細井議員、和賀議員、尾嶋議員（記録係）、市民6名、  
手話通訳者2名

C：石渡議員、江原議員、野々口議員、中山議員（記録係）、市民7名

D：黒須議員、中川議員、菱沼議員（記録係）、市民7名

（全グループを巡回：大島議長、遠藤副議長 司会進行：松本議員）

#### (2) 各グループにおける市民からのご意見等

##### Aグループ

- ・ 大山小学校の小規模特認校を2年間で廃止してしまうのは早すぎるのではないか。
- ・ 小規模特認校にした理由があったはず。子供のことを第一に考えてもらいたい。
- ・ 大山地区に産業を誘致しないと少人数になってしまうと10年前に言った。
- ・ 少子高齢化社会を地域住民が考えて行かないとだめだ。
- ・ 福島県では40年前にあった小学校が廃校になっている。
- ・ 大山小学校の廃校はあまりにも唐突だ。
- ・ アンケート調査では70%の保護者が廃校はやむを得ないとなっている。
- ・ 大山小学校の廃校問題は行政と地域住民と第三者機関で結論を出すべきだ。
- ・ 再度、アンケートをとって、大山地区の住民が決めるべきだ。
- ・ Q. 廃校は何月の議会で決めるのか。  
→ A. 3月議会で決定する。
- ・ Q. 大山小学校の教員の給与はどこの予算で賄っていくのか。  
→ A. 白岡市の予算で賄っている。

- ・ Q. 防災対策上、日常的に水の確保は何リットル必要か。  
→ A. 最低でも60リットル必要である。

### **Bグループ**

- ・ 大山小学校の統廃合は、住民に対する説明が不足している。進め方が早急すぎる。
- ・ 帯状疱疹の予防接種を個人負担で行ったが、2回で約4万円かかった。市として助成することは出来ないか。
- ・ 都市計画道路（白岡宮代線・白岡西口線）の進捗状況について、用地取得等は何割ぐらい済んでいるか。完成予定はいつ頃か。
- ・ 白岡として手話通訳者が不足しているので、資格取得の促進のできる制度ができないか。
- ・ 白岡中央総合病院が白岡中学校東側に移転するが、北側の地域は商業施設ができるようにならないか。

### **Cグループ**

- ・ 白岡駅東口から122号までの新しい幹線道路（白岡宮代線）はどこに到達するのか。その経済効果は。
- ・ 側溝の蓋掛けの請願を出したことがあるが、フィードバックがない（5年以上前）。どうなっているか知りたい。
- ・ 市役所前の道路の拡張希望
- ・ 空き家について、市役所は把握済みだが対策はないか。
- ・ 白岡中央総合病院が移転した時の渋滞の心配など
- ・ 旧保健センター前の道路＝中央通りを自転車で走行する時は、車道とは分かっているが、車道は危なくて走れない。そのため歩道を走行するが、植栽マスがありそこも危険。植栽マスを失くしてほしい。
- ・ 高齢者が無料で使える場所が欲しい（集会所などを利用させてほしい）。
- ・ シビックテックの導入をしてほしい。行政主導ではなく、市民とともに街づくりを進めてほしい。今回、このような機会を設けてく

ださりありがたい。

#### Dグループ

- ・ 財源が不足する場合どうするか。
- ・ 市民に開かれた議会であるべきで、透明性をもつためにITライブ放送を行っては。
- ・ 議会に何を求めるのか。市民が知りたいことをもっと把握し、伝えるべき。
- ・ 市としての地震対策は。
- ・ 議会（本会議）が静かで、消化不良。傍聴しても余り面白くない。全員協議会は活発。
- ・ 市民の考え、意識を吸い上げていない。
- ・ 議会運営の在り方が疑問。
- ・ 土地利用やマスタープランに関心がある。マスタープランが変わっているのに、現状に合わない。
- ・ 大山小学校の廃校後、児童はどこに通うことになるのか。
- ・ 白岡宮代線をなぜ推進したのか。意味が無いと思う。
- ・ もっと新しい取組をするといい。クラウドファンディング、PPP、PFI、人材を民間から登用するなど、斬新な取組をしてほしい。例えば、「県で初めての〇〇」といった取組が必要。
- ・ 高齢化で地域の役員の成り手不足が問題。やりたくない人が行政区から抜ける。広報の配布が負担になっている。
- ・ 空き家問題について、転居後の後片付け等の不徹底。役所に聞いたが解決に至っていない。

## 4 総括

### (1) 良かった点

- ・ 参加者の総数は34人で、前回比20人の増加となった。
- ・ 参加のきっかけは「回覧・チラシ」が最も多く、行政区の回覧による効果が大きかったと見られる。また、白岡・新白岡の両駅でチラシの配布を行ったことも効果があったか。
- ・ 意見交換をフリートークにしたことで、参加しやすくなったのではないか。

### (2) 今後に向けた課題等

- ・ 想定を上回る当日参加者数であったため、当日参加受付簿が不足してしまい、白紙で対応することとなった。  
→ 次回は十分な枚数の用意が必要である。
- ・ 意見交換会の進行の仕方がグループによって差異が見られた。  
→ 進行のシナリオを作成し、各グループの進行役議員に事前に配布することを検討する。
- ・ 意見交換会の際、別のグループの声と入り混じり、グループの人の声が聞こえなかったという意見がアンケートにおいて複数見受けられた。  
→ グループごとに会場を分けるなどの工夫が必要である。
- ・ アンケートの自由記述に「第1部 議会の報告」の説明資料を市公式ホームページで事前に公開してほしいという意見があった。  
→ 次回実施時の検討事項とする。
- ・ 次回以降、アンケート項目の一つに「過去に白岡市議会の議会報告会に参加したことはあるか」を追加し、リピーターの方がどれくらいいるかを把握する。

## 5 次回の開催予定（案）

(1) 日 時 令和6年7月28日(日) 午後2時から

(2) 会 場 白岡市役所4階 議場及び会議室

\* 2定例会ごとに1回の開催を想定している。次々回は1月末の予定。